



発行所
氷川神社社務所

日本唯一
気象神社

〒166-0003
東京都杉並区高円寺南4-44-19
電話 03-3314-4147
FAX 03-3315-0034

氷川神社
公式HP



気象神社
公式HP



高円寺氷川神社
公式 Twitter



初秋を迎えた氷川神社 空気も凛としてきています



今夏は7月に入ると太平洋高気圧とチベット高気圧が日本付近で勢力を増したことにより、日本各地で記録的な猛暑となりました。9月になっても猛暑は引かず、大気が不安定な日が続きました。9月21日には能登半島を記録的な豪雨が襲い、元旦の大地震に続き、土砂災害、浸水害、洪水害などの甚大な被害災害をもたらしました。

日本付近の気候はこの20〜30年で明らかに変わりました。記憶にも新しいですが当神社も5年前の台風15号(令和元年房総半島台風)で神社境内の大き木が次々と倒れて甚大な被害を被りました。まさに自然に抗うことは不可能であり、災害対策をきちんと講じることが必要であることながら、日々の神恩感謝の気持ちを大切にして過ごしていきたいと思えます。

高南宝扇会の皆様に境内の花植えをして戴きました



9月15日(日)高南宝扇会の皆様に境内の花植えを手伝って戴きました。5月にはマリーゴールドを植えて戴きましたが、今夏の猛暑と大雨により管理も困難となり、すべてのお花が枯れてしまいました。

今回は5月に続き、マリーゴールド250ポットを皆様で手際よく植えて戴きました。氷川神社、氣象神社ともにたくさんの方のマリーゴールドで秋らしい鮮やかな雰囲気になりました。ご参拝時にはぜひご鑑賞ください。ご参拝時にはぜひご鑑賞ください。ご参拝時にはぜひご鑑賞ください。

宝扇会の皆様、いつも本当に有難う御座います。今後とも宜しくお願い申し上げます。

くらしづく実行委員会

9月26日(木)くらしづく実行委員会様が晴天祈願・イベント成功祈願の為に御来臨されました。

10月19日(土)・20日(日)に千葉県山武郡九十九里浜町にて開催された「くらしづく2024」の開催日が晴天になるように祈願させていただきました。



(株)アニメイト

9月24日(火)アニメイト様が晴天祈願・イベント成功祈願の為に御来臨されました。

11月9日(土)・10日(日)に池袋サンシャインシティにて開催される「アニメイトガールズフェスティバル2024」の開催日が晴天になるように祈願させていただきました。

氣象神社 (各種祈願祭)

8X8フェス Music Festival 2024



9月7日(土)エイトバイエイトフェスティバル2024実行委員会様が晴天祈願・イベント成功祈願の為に御来臨されました。

10月5日(土)・6日(日)に福岡県久留米市で開催される「エイトバイエイトミュージックフェスティバル」が晴天になるように祈願させていただきました。

One Ok Rock

9月5日(木)ONEROCK関係者様が晴天祈願・イベント成功祈願の為に御来臨されました。

9月14日(土)・15日(日)に調布市の味の素スタジアムにて開催されたライブツアーの晴天になるように祈願させていただきました。

当日は晴天に恵まれて、多くのファンが駆けつけて、ライブはとても盛り上がりたそうです。

MEET YOUR ART FESTIVAL実行委員会



9月12日(木)MEET YOUR ART FESTIVAL実行委員会様が晴天祈願・イベント成功祈願の為に御来臨されました。

10月11日(金)・14日(月祝)に天王洲運河一帯で開催される「MEET YOUR ART FESTIVAL 2024」が晴天になるように祈願させていただきました。

民俗芸能 in としま

8月28日(水)民俗芸能INとしま様が晴天祈願・イベント成功祈願の為に御来臨されました。

10月26日(土)に池袋西口公園野外劇場で開催される「民俗芸能INとしま2024」が晴天になるように祈願させていただきました。

毎年ご参拝戴いており、本当に感謝申し上げます。イベントの日が晴天となることを祈念申し上げます。

★かつてのこうえんじん★ 第十一話 豊喜屋初代河原貞平

阿波踊り振興協会の理事長を務める河原一さんが営む豊喜屋は、今年の11月14で開業100年を迎える。昭和3年に発行された『杉並町人名鑑』に一さんの祖父河原貞平さんが書かれている。「深川においても有数の呉服商たりしが大震災火災にわざらわいせられて一切を跡形もなくし、半生の信用を唯一の資本として現在の地に開業し信用さらに倍す」とある。貞平さんは所沢の産まれで、幼少のころより苦勞をし、須崎弁天町の呉服商に婿として入った。日本橋の間屋で仕入れをしていて、王子にある飛鳥山まで避難し、さらに知人を頼りに吉祥寺に向かった。中央線で繋がっている高円寺との縁がここで出来たと推察するが、事実関係はつきりとはしない。震災の翌年大正13年に豊喜屋を開店する。一さんいわく「身内が言うのもおかしいけど、じいさんは人格者だったんだよな」という言葉通り、先の名鑑にも載り、昭和8年の高円寺駅開駅15周年記念の写真には一列目の中央に収まっている。この年に杉並村は杉並町になり、北口しかなった駅に南口ができ、現在の杉並区と高円寺の基盤が出来上がった。南口をつくるのは当初二案あり、氷川神社に近い東側、商店会に近い西側とで、誘致合戦があり、結果商店会側に南口が出来たという。この裏にも、貞平さん始め、南の商人の尽力があったのではないだろうか。昭和20年5月25日26日と二日続けて、高円寺は大規模な空襲に襲われ、大きな被害を受ける。8月15日に終戦。貞平さんの物領息子の廣さんは兵隊に取られ満州にいたが、運良くシベリアに抑留されることなく、佐保から高円寺に戻ることができた。戦後すぐは呉服店ではなく、瀬戸物なども扱い、なんとか乗り切ることができた。戦後の区画整理事業は昭和22年から始まった。当初は、商店会も東京都に協力し、建物も将来に敷設される道路のことを考えて建て始めたが、東京都の計画図が不明朗で、さらにそれを修正する態度が見えず、多くの人々が反対運動に立ち上がった。これに拍車をかけたのが、暴力を身にまとったとある人物で、持ち主が不明な土地を勝手に占有し、戦後のどさくさに紛れてわが物にした。その様子を見ていた住民の間で、自分の土地を取られる、という恐怖感が広まり、我先にと道路際ぎりぎりまで家を建て始めた。混乱は長引き、商店会活動も停滞し、そして対立はなかなか解消しなかった。

こういう状況をなんとかしようと、しがらみの少ない若い世代を集めて「商盛会青年部」になった。という逸話はすでに伝説や歴史のたぐいになっていく。東京都が提示する区画整理の案が徐々に明らかになってきたのもこの年だった。現在のPAL商店会の東側(中野寄り)は区画整理の対象になるが、西側(阿佐ヶ谷寄り)は対象外、まさに商店会を真っ二つに割く計画だった。反対派は区整対策委員会を結成し、計画の中止を求める法廷闘争を開始した。この争いは、地裁、高裁、最高裁まで持ち込み、およそ10年に及ぶ長い闘いとなる。

阿波踊りも順調に開催され続けたわけではない。第3回の昭和34年には、開催が中止かを無記名で投票し、わずかに1票賛成が上回り、首の皮一枚で継続が決まった。初回の「高円寺ばか踊り」は中央線の踏切から宝橋まで、踊るといふより走り抜けて終わり。しゃもじを持たされ、歌舞伎の六方を踏まれた第2回、徳島県人がいると阿波踊りのことを聞き、なんとか形にしようともがいた第3回と試行錯誤を重ねた。昭和35年には大雨で桃園川が氾濫し、当時商店会の理事長だった廣さんの判断で中止となった。「森田さんって初回から熱心やってた人が店に来てさ、震えながら親指に文句言ってたの、子供だったけど覚えてるよ」とそのときの話を一さんが話してくれた。

昭和37年に阿波踊りに光が指し始める。徳島関係の在京団体を訪ね歩くうちに、徳島県人が多く住む木場の鴨川長二さんにも出演。昭和38年には「高円寺阿波おどり」と名称を改めた。この年は区画整理で起こった対立を解消しようとして、臨時総会を開き商店会の役員が総退陣し、その穴を青年部が埋めることになった。始めて棧敷席が出来、いしだあゆみが踊った第10回。中央線が高架になり、北の商店会も参加した第11回。昭和44年には、18メートル道路(現在の高南通り)が通り、そこを使うことによって、広がりが出て、現在に続く阿波踊りの原型がつけられた。そしてこの年に区画整理事業は終了。

震災にあった、という点は同じでも、北口では区画整理事業は進まず、現在でも区長選挙のたびに「都市計画道路反対、再開発反対」と争点になっている。商人にとって、店の場所や広さは、大げさではなく、生き死にの問題だと言った過言ではない。戦中、戦後の飢えを知っている、戦中派が現役だった昭和20、30年代の店主たちにとっては、まさに実感としてこの感覚があったと思われる。整理事業を完遂させた大きな理由のひとつに阿波踊りがあると思っている。見たことも聞いたこともない、遠い南国の祭りを、必死で探り、手がかりを見つけた仕事が終わると木場に通って踊りを学び、夜中に映画館を借りて復習する。新幹線のない時代に列車を乗り継ぎ徳島に行き、8ミリで本場の阿波踊りを撮影し、そのフィルムを擦り切れるまで観る。無から有を創り上げた情熱が、区画整理での対立を、お互いの立場を、溶かしたのではないだろうか。高円寺の街が受けた戦争の傷と、人々の中に燻っていた空襲の恐怖を、まどうか会の若き情熱が癒し、生きる力を与え、その熱は未だに高円寺に受け継がれているのだろう。「富ちゃん(振興協会専務理事)とも言っただよ、俺たち第二世代もあともって5年だよな、そのあとどうなるかだよ」と一さんに「どうなるかと思いません」と聞くと「イベントになっちゃう」と答えた。今一つ腑に落ちなかったが、今年の阿波踊りの舞台裏に触れ、歴史を学ぶことで、ささやかながらも言葉の意味合いがわかったような気がしている。阿波踊りを築いた父親と、それを必死で支えた母親の背を見て育った人しか言えない言葉だと感じている。川原家と高円寺の百年。街は人がつくり、支え、そして繋いでいく。

狩野俊



出身地 埼玉縣
現住所 高圓寺九八三

豊喜屋
呉服商 川原貞平

氏は幼にして呉服商に志し、「三の老舖に見習勤務をなして詳かに斯業の實際を會得す。仕入、鑑定、販賣等は氏に於いては新粉細工の如く、自由自在に扱ねばさる。この敏腕を以つて、お客第一を標語とし薄利多賣を主義として奉仕するが故に店頭常に市を爲す。未だ會て不信、不満の聲を聞かず。深川に於いても有数の呉服店たりしが大震災に於いては一切を鳥有に歸し、半生の信用を唯一の資本として現在の地に開業し信用を倍す、店員五人を使用す。實に南通第一の盛り場にして亦商品の豊富なること第一也。

杉並町人名鑑(昭和3年)

高円寺駅開駅15周年記念



河原貞平さん

豊喜屋の店構え



バル商店街での阿波踊り

七五三詣のご案内

年齢	性別	数え歳	満年齢
3歳	男児 女児	令和4年生まれ	令和3年生まれ
5歳	男児	令和2年生まれ	平成31年生まれ 令和元年生まれ
7歳	女児	平成30年生まれ	平成29年生まれ



今月の花手水



【氷川神社】

- ・紅葉の三つ巴
- ・秋の神社参道

【気象神社】

- ・鮮やかなイチョウ
 - ・朱色の鳥居
- ※公式サイトに過去の御朱印を掲載してますので、ご覧ください。



大切なお子様の健やかな成長を祈念する七五三詣の時期になりました。おめでたい日を迎えるからこそ、家族の皆様で素晴らしい一日にしてあげてほしいと思います。氷川神社でも七五三詣を承っておりますので、お気軽にお問い合わせお待ちしております。皆様のご来臨をお待ち申し上げます。

祝 七五三詣

お知らせ



令和6年10月の御朱印



今月の御朱印

◆「72時間ドキュメント」に
気象神社が登場予定

11月1日(金)NHK「72時間ドキュメント」(22時00分〜22時30分)に気象神社が登場予定です。お時間があれば、ご覧ください。
※放送予定日や放送内容が変更になる可能性もあります



◆ご祈祷のご案内

氷川神社では各種祈祷を承っておりますので、お気軽に神社までお問い合わせ下さい。
また気象神社では晴天祈願をはじめとする各種祈願を承っております。(会社、法人、団体様のみが対象となります)

いのち 生命の言葉(令和六年十月)

中国の思想家である老子が説いた言葉で、物事の道理をわきまえる知識が豊富な者は軽々しく口にしない、逆にしゃべり過ぎる人は物事の道理を分かっているという意味です。



今月の盆栽

氏子地域の盆栽屋ラビア デツン様が毎月盆栽を神社に届けてくれます。素敵な盆栽を毎月紹介していきます。



編集後記

ひかわ223号をお送りしました。元旦に大地震に見舞われた能登半島に今度は豪雨が襲いました。想像を絶する土砂災害、浸水害、洪水により復興を大きく妨げる気象災害となりました。自然に抗うことはできませんが、少しでも温暖化を阻止すべく一人一人ができることを確実に地道に実行していくことが大切だと感じています。これから一気に秋深くなり、冬に入っていくと思います。体調にご留意ください。